



婦人部仙南支部研修会「牛のテラリウム作成教室」

CONTENTS

良質自給粗飼料作り研修会開催	1	畜舎環境美化コンクール審査会開催	5
輸入粗飼料情勢	2	平成29年度	
平成29年度 生乳生産実績	3	畜舎環境美化コンクール入賞作品発表	6
生乳の安全・安心確保のための宮城県協議会 モニタリング実施	3	牛群検定～優良事例紹介～Vol.10	10
酪農技術シリーズ⑩		酪農技術シリーズ⑩	11
青年部仙南支部・酪青研仙南地方連盟交流 ボウリング大会	4	理事会通信	13
婦人部仙南支部研修会開催	4	業務報告	14
婦人部本吉支部料理講習会	5	編集後記	15

良質自給粗飼料作り研修会開催

購買課

平成30年2月14日(水)、15日(木)の2日間にわたり良質自給粗飼料作り研修会を開催しました。

昨年に引き続き、雪印種苗(株)営業本部、トータルサポート室次長の松本啓一氏を講師に招き『牛にとって良い粗飼料とは』を演題に研修会を行いました。初日は本所にて28名、2日目は仙南支所に20名が参加されました。

牛にとって良い粗飼料とは【①栄養価が高い②品質が良い③消化が良い】ことであり、①アルファルファ・ペレニアルライグラスの混播事例②カビ毒・二次発酵対策③植生割合による消化率などの説明を受けました。質疑応答では、ペレニアルライグラスの特徴やシバムギの対策方法など質問されておりました。



雪印種苗(株)営業本部 松本啓一氏による講演

牛にとって良い粗飼料とは？

1. 栄養価が高い
 - ・タンパク質が高い：アルファルファの混播事例
 - ・NFCが高い：ペレニアルライグラスの混播事例
2. 品質が良い
 - ・カビ毒が無い
 - ・二次発酵していない
 - ・発酵品質が良い
3. 消化が良い
 - ・未消化の繊維が少ない：糞洗い結果
 - ・繊維の消化が良い：NDF消化率
 - ・デントコーンのデンブンの消化が良い：貯蔵期間

①良い粗飼料の条件

改善方法

1. 適切な施肥を行い、発酵品質を改善
 - デントコーンを作付けし、スラリーをそちらに多めに散布した
 - 草地への肥料の量を減らした
 2. 草地更新による植生改善
 - 簡易更新等により草地更新を積極的に行っていった
 - ルーサンを混播を行った
- その結果、栄養価と発酵品質が大幅に改善された

	粗蛋白質	TDN	NDF	NFC
78/76%混播草地	14.0	58.6	64.0	11.1
経年草地	12.6	58.2	72.2	8.6

	乳酸	酢酸	VBN/TKN	V-237
78/76%混播草地	1.61	0.03	9.4	86
経年草地	0.70	0.53	21.1	41

②粗飼料の改善

サイレージ(1番)の栄養価

- ・ペレニアルライグラスの栄養成分は、TDN67%、NFC30%、NDF50%であり、成分的にはコーンサイレージに近い
- ・それによりシバムギが多い草地でも栄養価の改善がはかれる

	水分	TDN	CP	NDF	NFC	Vスコア
既存経年草地	78.9	57.5	10.7	71.2	11.0	78.2
ペレ混播草地	75.0	61.9	11.0	65.8	16.0	94.9

③ペレニアルライグラスを利用したサイレージの成分



本所大会議室



仙南支所会議室

①北米コンテナ船情勢

4月よりいくつかの船会社から運賃の値上げ案内がされております。実際に実行するか追随する船会社があるのか注視の必要があります。また米国内の経済が好調でそれに伴う貨物、トラックの需要が増え思うような手配ができない状況で、それに加えドライバーの労働環境に関する法律が強化され実労働時間が制限され港への搬入が大幅に遅れ予定通り船積みができない事例が多くなっております。

日本国内への入船後においても運送業の値上げの圧力が強まり品物への転嫁は避けられない状況です。

②ビートパルプ

17年産は下方修正や堅調な引き合いからほぼ売約済となっております。日本向けの主産地ミネソタ、ノースダコタ州では4月中旬より作付けが開始される予定です、作付面積も前年並みで減少することはないと予想されます。

③アルファルファ

(A)ワシントン産

17年産の上級品はすべて完売しておりますが低級品は在庫が残っている模様です。18年産については17年産のチモシーが高値で推移した為、チモシーにシフトする圃場が増え作付面積は5～10%程度減少すると見られます。

(B)カリフォルニア産

18年産の収穫は始まっております。価格も昨年と比べて大きく上昇している模様です。農業用水の制限をしている中東のサウジアラビアより引き合いが強く、今後もさらに需要は高まっていくと予想されます。

④チモシー

(A)US産

17年産の上級品はほぼ売約済となっております。高値で推移したことから18年産の作付面積は10%程度増加すると見込まれております。

(B)カナダ産

17年産は天候に恵まれ北部レスブリッジ、南部クレモナとも殆ど上級品となりました。価格面でもUS産と比較すると安価な為、日本と韓国から引き合いが強くほぼ売約済となっております。

⑤ストロー類

日本や韓国からの引き合いが強く価格も堅調に推移しております。米国の農務省発表によると18年産の種子採取向けの禾本科牧草の作付面積はライグラス、トールフェスクは若干増える見込みです。

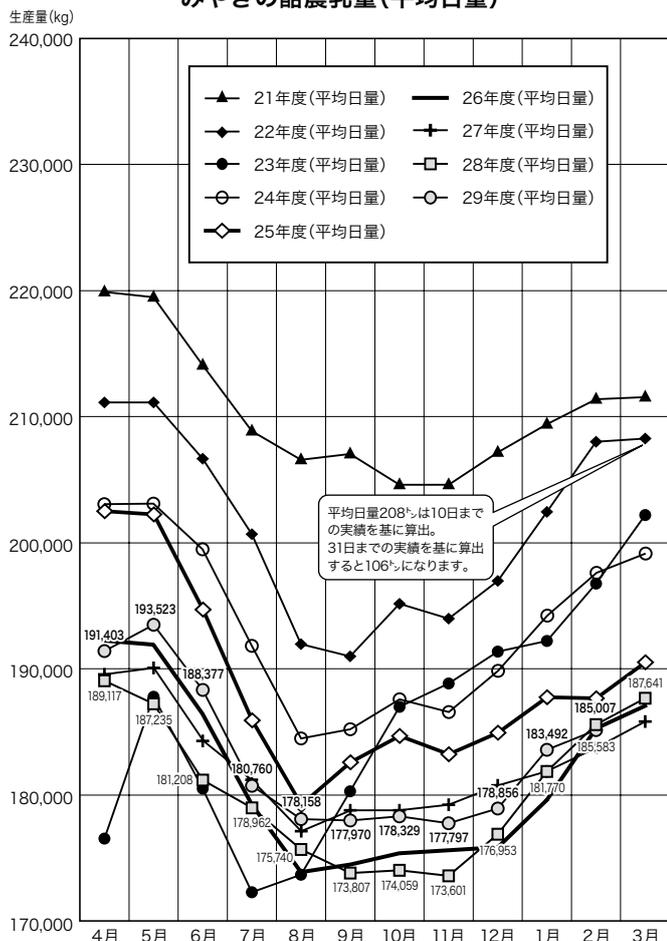
⑥豪州産オーツヘイ

南豪州産と、東豪州産の新穀の収穫は終了し殆ど上級品となっております。

西豪州産の上級品は北部で収穫された一部となりました。その他は収穫期に降雨の被害があり中級品以下が多く発生しております。日本と韓国への出荷は比較的安定しておりますが、今後中国からの引き合いが強くなると予想され注視する必要があります。

以上のような状況の中、安定供給に努めてまいりますのでご利用賜りますようお願いいたします。

みやぎの酪農乳量(平均日量)



平成29年度生乳生産実績(4月～2月 標準進捗率91.51%)

(単位:kg、%)

支 部 名	戸数	ハルク乳量	前年同期乳量	前年同期比	計画生産数量	進捗率
白石支部	22	5,971,160.5	5,820,732.4	102.58	6,416,800.0	93.06
七ヶ宿支部	6	2,248,631.2	2,072,160.5	108.52	2,289,964.0	98.20
蔵王支部	26	7,535,440.1	7,476,893.1	100.78	8,242,155.0	91.43
柴田支部	17	3,809,546.7	3,852,579.0	98.88	4,235,113.0	89.95
角田支部	7	2,006,230.4	1,930,859.9	103.90	2,145,845.0	93.49
丸森支部	13	2,924,328.7	2,885,998.6	101.33	3,153,507.0	92.73
仙台支部	12	3,406,759.0	3,518,929.1	96.81	3,879,344.0	87.82
名取支部	6	827,863.0	878,556.0	94.23	961,322.0	86.12
黒川支部	6	1,146,200.0	1,356,167.0	84.52	1,400,428.0	81.85
大崎支部	19	3,213,888.0	3,275,187.0	98.13	3,626,724.0	88.62
遠田支部	16	5,472,984.0	5,385,959.0	101.62	5,946,902.0	92.03
加美支部	20	2,625,279.0	2,564,031.0	102.39	2,810,605.0	93.41
鳴子支部	13	1,996,052.0	2,131,473.0	93.65	2,309,079.0	86.44
一迫支部	12	2,770,497.0	2,704,658.0	102.43	2,966,924.0	93.38
築館支部	14	1,961,397.0	1,899,411.0	103.26	2,096,661.0	93.55
瀬峰支部	7	1,175,972.0	1,237,410.0	95.03	1,281,173.0	91.79
迫支部	13	4,087,687.0	3,312,869.0	123.39	3,722,005.0	109.82
中田支部	9	1,450,937.0	1,284,964.0	112.92	1,432,193.0	101.31
東和支部	7	1,108,102.0	1,124,270.0	98.56	1,237,517.0	89.54
志津川支部	9	1,303,423.0	1,129,772.0	115.37	1,260,516.0	103.40
本吉支部	10	913,489.0	972,323.0	93.95	1,070,549.0	85.33
石巻支部	6	983,255.0	1,021,398.0	96.27	1,097,936.0	89.55
豊里支部	12	2,194,072.0	2,208,015.0	99.37	2,359,738.0	92.98
みやぎの酪農	282	61,133,193.6	60,044,615.6	101.81	65,943,000.0	92.71

※出荷戸数については、直近の数字です。

生乳の安全・安心確保のための宮城県協議会 モニタリング実施

平成30年2月27日(火)に「生乳の安全・安心確保のための宮城県協議会」が県内4地区において、酪農生産現場における管理基準遵守状況と生乳生産管理チェックシート記入のモニタリングを実施しました。

宮城県協議会は県・乳業メーカー・酪農団体・共済連・獣医師会・動物医薬品団体・飼料団体で構成されています。モニタリングで当組合の記帳状況については、おおむね良好な結果となりました。

今後も処理室の清掃等を行うとともに、「生乳生産管理チェックシート」へ記帳・記録を行い、動物用医薬品等の「休薬期間を厳守」し「必ず出荷前の検査」を行いましょう。



青年部仙南支部・酪青研仙南地方連盟交流ボウリング大会

指導課

平成30年2月10日(土)に青年部仙南支部と酪青研仙南地方連盟共催の第17回交流ボウリング大会が大河原町「ボウルジャンボフォルテ」にて開催しました。

毎年恒例となっている本大会は部員間の家族ぐるみの交流を目的に、この時期に開催しており今回は41名の参加で行われました。当日は寒さが厳しい中ではありましたが、会場内は熱気に包まれ一投ごとに大きな歓声や拍手・笑い声があがっていました。そして表彰式では電化製品やおもちゃ等の豪華景品を贈呈され、参加者からは笑顔が絶えない大会となりました。

今年度もこれからの酪農を担う子どもたち、若い後継者や仲間との大切な交流の場となりました。



婦人部仙南支部研修会開催

指導課

平成30年2月14日(水)に大河原町「おおがわら天然温泉 いい湯」にて「牛のテラリウム作成教室」と題し、婦人部仙南支部の研修会が開催しました。

今回の研修会は婦人部仙南支部副部長の阿部由紀子さんを講師に迎え、消臭ビーズや百円均一の小物だけで手軽にできるテラリウムを作成しました。

参加者はプルプルとしたビーズの上に飾り付けをするのに悪戦苦闘しながらも、周りの作品と自分の作品を見比べながら、楽しく作成していました。

研修会の後は恒例のくじ引きで席順を決めて、昼食を摂りながらの懇親会を行いました。

参加者は手軽に自分だけの作品を作り、忙しい春が来る前に仲間との会話を楽しむひとときの休息で英気を養えたようです。



婦人部本吉支部料理講習会

指導課

平成30年2月14日(水)に気仙沼市本吉町のモーランド本吉まきばの学校において、婦人部本吉支部料理講習会を開催しました。

山内育子部長、阿部恵美子副部長を中心に、ミルク料理研究家の小山浩子さんのレシピを参考に牛乳を利用したメニュー「みつばと柚子のミルク茶碗蒸し」、「伊達巻き」、「カルピスマース」の3品を作りました。



どれも簡単に短時間で出来るので、忙しいお母さん方に好評でした。講習会終了後は試食を兼ねて懇親会を行い、美味しい料理を囲みながら部員同志の交流を深めました。

畜舎環境美化コンクール審査会開催

指導課

平成30年1月25日(木)にみやぎの酪農農業協同組合本所大会議室において「平成29年度畜舎環境美化コンクール」の審査会を開催いたしました。

このコンクールは、畜舎のイメージアップと畜産物の消費拡大を推進するため、県内の酪農家の環境保全意識向上を図り経営の安定的発展を目的として、年度当初に全戸に配布された花の苗を育て、その花を基調として牛舎周辺を草花で彩りその美しさを競うことになっており、婦人部の後援により毎年開催されております。



また、審査方法は宮城県農林水産部畜産課草地飼料班の佐藤技師、雪印種苗(株)の沼原所長、伊藤組合長、婦人部の佐藤部長はじめ12名の審査員が県内各地から写真により出品された環境美化の成果を審査します。

厳正なる審査の結果、最優秀賞には栗原支部の千田悦子様、仙南支部の木村せい子様、瀧口ひろみ様の3名に決定いたしました。

平成29年度

畜舎環境美化コンクール

入賞作品発表




最優秀賞
 栗原支部
 千田悦子さん




最優秀賞

仙南支部

木村せい子さん



畜舎環境美化コンクール 入賞作品発表



最優秀賞

仙南支部

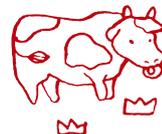
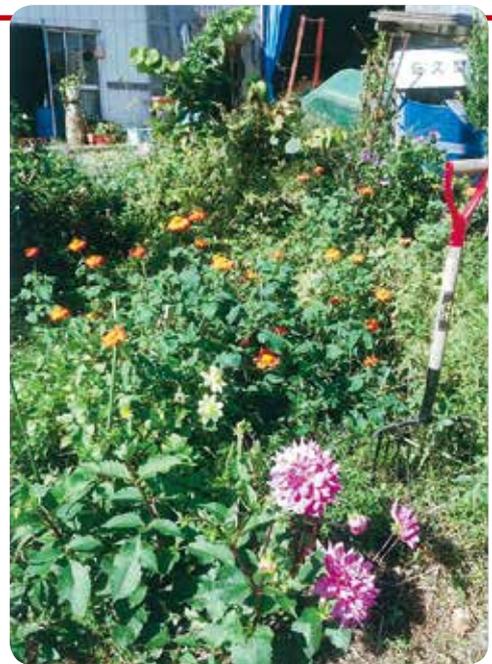
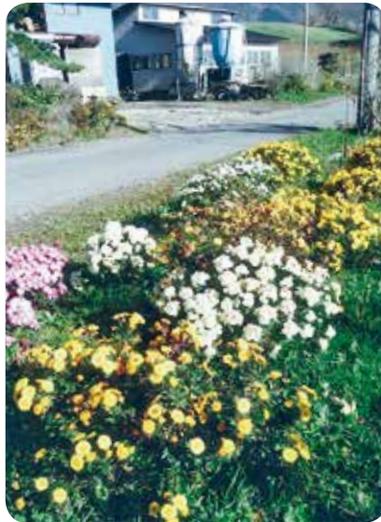
瀧口ひろみさん

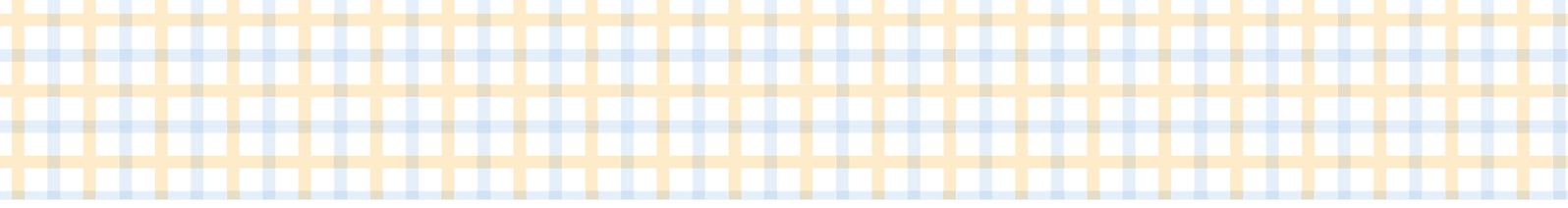


優良賞

仙南支部

佐久間幸枝さん






優良賞
 仙南支部
 小島清恵さん




優良賞
 仙南支部
 吉田明美さん



畜舎環境美化コンクール 入賞作品発表

優良賞

栗原支部

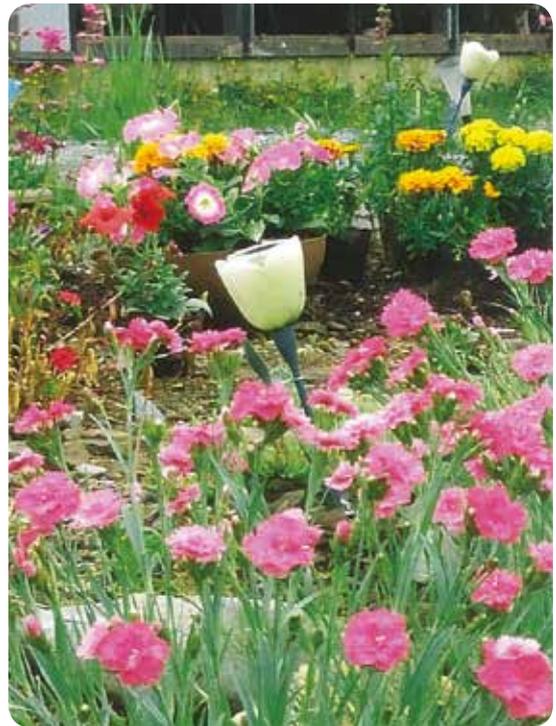
砂金奈生さん



優良賞

本吉支部

阿部恵美子さん



有限会社 蔵王あぐり

●牧場の概要

- *所在地：宮城県川崎町川内
- *飼養頭数：127頭
(経産牛68頭，育成40頭，和牛19頭)
- *年間出荷乳量：約730t
- *補正乳量：約12,830kg／頭



●牧場のこだわりと目指すもの

牧場のまわりは年々新しい住宅が増え、散歩する人も多いため、牛乳に対するイメージダウンにならないよう環境美化に心がけています。春には牛舎の回りに花を植え、女性(牛も含め)が働きやすい環境づくりと愛のある牧場作りを目指しています。

働くスタッフには、当たり前前の休日とお給料を、牛達には十分な美味しい餌と安らげる環境を提供できるようにしています。まだ発展途上ではありますが、スタッフと牛達には「ここで働けて幸せ」と思ってもらえるよう、また地域からも必要とされる牧場となれるよう、多くの関係機関の方々の力をお借りしながら日々頑張っています。女性スタッフだけなので、難しいこともあります。女性だからこそできるキメ細やかな作業を心がけています。

飼料畑も大きな機械も持っていないので、規模拡大はせずに収益性のアップを目指し、牛群の改良と和牛子牛の生産に取り組んでいます。



●牛群検定の活用方法

牛群検定に加入したきっかけは乳質改善をしたいと思ったからです。現在は主に、検定成績表の体細胞数及び管理・繁殖の状況を確認するようにしています。

①体細胞数

体細胞数が高い牛を把握し、治療や淘汰等をすぐに行うことができるので乳質改善に検定は役立っています。体細胞数が20万/ml以上となった牛に関しては、搾乳手順の再確認を行ったり、牛床の清潔性のため除糞を頻繁に行ったりとその牛の体細胞数がこれ以上高くないように気をつけています。

②管理・繁殖の状況

授精及び受胎状況はもちろんのこと、特に分娩間隔を確認することで繁殖成績の改善に役立っています。過去には平均分娩間隔が460日になったことがあり、乳量へ大きく影響しましたが、発情観察の見直しを行い、2～3年の歳月をかけて現在の420日程に改善できました。それ以降、分娩間隔には特に気をつけるようにしています。



●牧場から一言

酪農は牛の恩恵を受けて、牛に生かされながら成り立つ仕事だとつくづく思います。受胎して、子牛が生まれ母牛になり、牛乳を沢山出してくれて、役目を終えて市場に出ていっても、なおお金になってくれる。牛達には感謝しきれません。

その牛達の状態を牛群検定は数字として客観的に見ることができるだけでなく、自分たちが気がつかなかった問題もすぐに把握することができるため、問題の解決にも繋がります。また、検定成績表は毎月一回の通信簿のようなものです。過去一年分の成績を確認できるので、問題が発生した時、解決するための材料にもなります。たまに昔の成績表を引っ張り出してみることもありますが、古いアルバムを開いた時みたいに牧場のたどってきた軌跡をたどるようで面白いです。

(文：宮城県大河原農業改良普及センター 丹野)



牛群検定には6ヶ月間無料で体験できるお試し検定事業があります。
牛群検定を始めてみようかな、と思われた方は下記までご相談下さい。

- ・宮城県ホルスタイン協会 ((一社)宮城県畜産協会内) TEL：022-298-9750
- ・県南乳用牛群改良組合 ((一社)宮城県畜産協会仙南事業所内) TEL：0224-52-2523
- ・県北乳用牛群改良組合 ((一社)宮城県畜産協会中央事業所内) TEL：0229-34-3304

繁殖状況の確認と考慮すべき項目について

今回は繁殖状況の確認と考慮すべき項目についてご紹介します。

内容としては、昨年、開催されました酪農研修会「長命連産に向けて」と重なる部分がございますが、今一度、再確認というかたちで目を通していただけましたら幸いです。

● 繁殖遅延によって生じる潜在的所得の損失！

まず、繁殖遅延がもたらす経済的損失についてみていきます。

繁殖遅延は牛群の平均搾乳日数の長期化をもたらす、その結果、搾乳牛1頭当たり乳量/日を低下させ、経済的損失をもたらします。

【損失額の算出】 概算ではありますが、牛群の平均搾乳日数が1日延びることによる所得の損失は“▲0.09 kg × 頭数 × 乳価 × 365日”で算出することができます。
 (乳量減少率は産次差・個体差あるがここでは▲0.09 kg / 日として計算)
 仮に30頭搾乳で乳価を100円として計算すると…
 $\text{▲0.09 kg} \times 30 \text{ 頭} \times 100 \text{ 円} \times 365 \text{ 日} = \text{▲98,550 円 / 日}$
 となりますので、この場合、牛群の平均搾乳日数が1日延びるごとにおよそ10万円損失していることとなります。

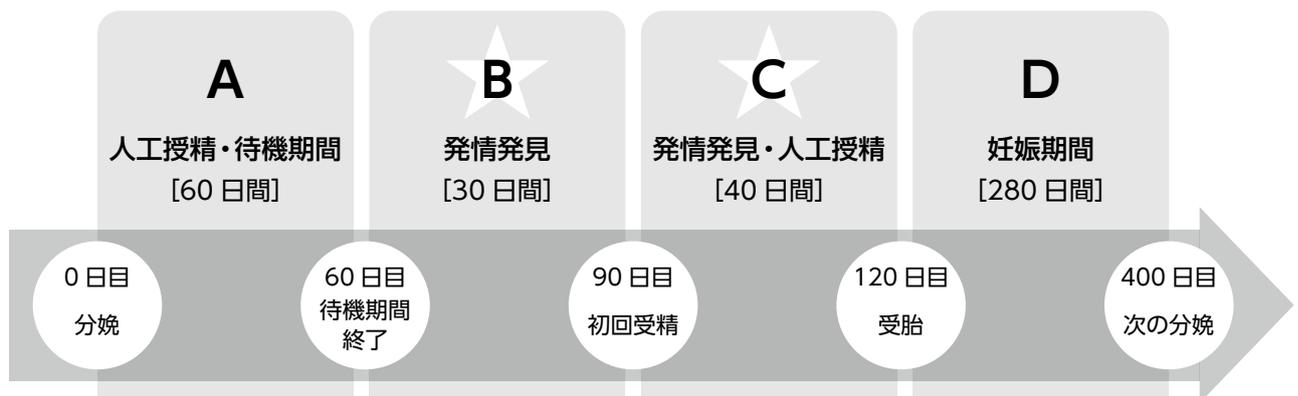
この損失は、実際に損失額を現金で支払うわけではないので、普段、目では見えにくい部分ではありますが、農場の収益性を考える上で非常に重要な点だと思います。

● 不妊症原因追究へのアプローチ

不妊症はある特定の要因で発症する疾病ではないので、すべてのケースに万能薬があるわけではありません。原因を追究し、その問題を解決することが最も重要となります。

その為、現状を把握し、どこに問題が存在するのかを確認することが第一のアプローチとなります。

● 繁殖のタイムライン



図は、分娩間隔を構成する要素を時間を追って表した一例です。分娩間隔は、A～Dの4つの期間に分けることができます。

このうち、Aの期間は、初回授精までの待機期間であり、各農場によって任意に決めることができます。また、Dの期間は、乳牛の妊娠期間として生理的に決まっているものですので、短縮する事はできません。分娩間隔を短縮するためには、B期間（分娩～発情発見・初回授精）にかかる期間を短くするか、C期間（初回授精～受胎）に要する期間を短くする必要があります。

● 繁殖状況簡易チェック

ご自身の農場の状況をもとにチェックしてみてください。



初回授精までが長い場合 ★ B 期間が長い

①発情発見の問題

・初回授精は、どの牛でも分娩後日数は、80日以内になってますか？

はい いいえ

なっていない場合、発情の見落としがあるかもしれません。授精できていない場合、10日以内にプログラムにより授精すべきです。精液を注入しなければ妊娠しません。

②卵巣の問題・子宮の問題

・分娩後35日より前に初回排卵がありますか？

はい いいえ

ない場合、分娩間隔が長くなります。要因として分娩前後～分娩後20日まで、大きな栄養不足が考えられますので、移行期の摂取量・配合の増量ペース・潜在的疾病を確認してください。初回排卵はあったが、次回排卵がない場合、高乳量時の栄養不足が推測されます。また、分娩時の健康レベル（乾乳後期でのエネルギー・代謝蛋白・ビタミン・ミネラルなど栄養不足、分娩時のストレス）の低下、潜在性低Ca血症およびその他代謝疾患が子宮回復遅延の原因となります。

初回授精から受胎までが長い場合 ★ C 期間が長い

①発情発見の問題

・授精後、18日～25日後に発情観察をしていますか？

はい いいえ

・空胎と確認された後、早期に再授精していますか？

はい いいえ

授精間隔を42日以上にしないことが目標です。

②受胎率の問題

・受胎率は何%ですか？（何回で受胎していますか？）

%

50%が目標になります。

受胎率に関わる要因は牛・環境・人と多岐にわたります。下記に記した条件で手を加える余地がある点はないでしょうか

- 牛側要因 … エネルギーバランス、ボディコンディション、生殖器状態、年齢、真の発情
… 一般的健康状況（糞・毛づや・アシドーシス・蹄病・乳房炎・脂肪肝・カビ毒影響）
- 環境要因 … 気温、換気、ストレス、分娩場所
- 授精要因 … 真の発情への授精、授精タイミング、精液保管、精液の取扱い、授精衛生、精液の注入部位、精液品質、種牛の受胎率

**高い受胎率は、「多くのことを正しく行う」ことの結果であり、
「細部への関心」が改善のヒントになります。**

【第10回理事会】

開催日 平成30年1月29日

付議事項 第1号議案 総務委員会および業務委員会からの答申について

第2号議案 出資口数の減少について

【第11回理事会】

開催日 平成30年2月28日

付議事項 第1号議案 就業規則等の一部変更について

第2号議案 役員賠償責任保険の更新について

第3号議案 平成29年度決算推定について

第4号議案 上部団体役員への推薦について



1月9日	畜産クラスターコーディネーター応用研修 ～11日	東 京 都
1月10日	迫支部研修会	登 米 市
1月12日	生乳取扱者フォローアップ研修会	仙 台 市
	遠田支部役員会	本 所
	志津川支部研修会	南 三 陸 町
1月16日	DMS相談会	本 所
	鳴子支部研修会	大 崎 市
	黒川支部研修会	大 和 町
1月17日	DMS相談会	仙 南 支 所
1月18日	(一社)全国酪農協会事業推進委員会	東 京 都
	全酪連監事・役職員研修会 ～19日	沖 縄 県
1月19日	(一社)Jミルク理事会	東 京 都
	畜産・酪農生産向上を目指した技術向上力研修会	東 京 都
	青年部本吉支部研修会	南 三 陸 町
1月22日	角田・丸森支部合同研修会	丸 森 町
	畜産特別資金推進事業指導班会議	仙 台 市
	畜産近代化リース協会貸付事業打合せ会	仙 台 市
1月23日	中田支部研修会	登 米 市
1月24日	安全運転管理者講習	仙 台 市
	業務委員会	本 所
1月25日	畜舎環境美化コンクール審査会	本 所
1月26日	東電原発事故損害賠償対策担当者会議	仙 台 市
	畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業説明会	仙 台 市
	柴田支部研修会	村 田 町
	青年部登米支部交流会	登 米 市
1月29日	第10回理事会	本 所
	乳用牛群検定普及定着化事業研修会	松 島 町
1月30日	遠田支部交流会	大 崎 市
	東北酪農青年女性会議役員会	仙 台 市
1月31日	東和支部研修会	南 三 陸 町
	青年部石巻支部研修会	涌 谷 町
2月1日	婦人部大崎支部研修会	大 崎 市
2月2日	東北地域酪農生産基盤強化検討会	仙 台 市
2月5日	DMS相談会	本 所
2月6日	青年部栗原支部ボウリング大会	大 崎 市
	DMS相談会	仙 南 支 所
2月7日	酪農研修会	本 所
2月8日	婦人部栗原支部研修会	栗 原 市
	酪農研修会	仙 南 支 所
	東北酪農生産研究会海外研修報告会・委員会 ～9日	山 形 県
	J A人事教育部課長研修会議	仙 台 市
	牛乳乳製品需給見通し・酪農乳業産業基盤特別対策事業説明会	仙 台 市
	宮城県農林年金制度完了組織対策協議会委員会	仙 台 市
2月9日	婦人部石巻支部研修会	松 島 町
	仙台支部研修会	仙 台 市
2月13日	日本酪農政治連盟東北ブロック協議会監事会	仙 台 市
	日本酪農政治連盟東北ブロック協議会総会	仙 台 市
2月14日	自給飼料生産向上研修会	本 所

2月14日	婦人部仙南支部研修会 婦人部本吉支部料理講習会 宮城県牛群検定普及推進協議会作業部会 第6回酪農未来塾 ～ 15日	大 河 原 町 気 仙 沼 市 仙 台 市 神 奈 川 県
2月15日	自給飼料生産向上講習会 加美支部ボウリング大会	仙 南 支 所 大 崎 市
2月16日	(一社)Jミルク理事会 肉用子牛生産者補給金制度調査指導 大崎畜産振興協議会畜産講演会 東北地域畜産クラスターセミナー 日本酪農政治連盟事務局長・事務局担当者会議 角田市酪連研修会	大 東 京 都 本 所 市 大 崎 市 仙 台 市 東 京 都 角 田 市
2月17日	一迫、築館及び瀬峰支部合同会議	栗 原 市
2月19日	全酪連酪農セミナー 2018 宮城県酪農ヘルパー事業意見交換会	仙 台 市 本 所 市
2月20日	婦人部登米支部交流会 哺育育成センター運営委員会	仙 台 市 本 所 市
2月21日	宮城県牛乳普及協会ミルクファミリーキャンペーン抽選会	本 所 市
2月22日	DMS相談会 青年部石巻支部・婦人部石巻支部合同ボウリング大会 東電損害賠償宮城県協議会第58回総会 乳の官能評価セミナー 2018 in十勝 宮城県酪農団体合理化検討会 市道駒木・赤沼線道路改良事業計画説明会	仙 南 支 所 石 巻 市 仙 台 市 北 海 道 市 仙 台 市 登 米 市
2月23日	宮城県農林年金制度完了事務責任者会議 青年部大崎支部ボウリング大会 総務委員会 健康保険委員・年金委員合同研修会 畜産特別推進指導事業研修会	仙 台 市 大 崎 市 本 所 市 大 崎 市
2月26日	DMS相談会 業務委員会 仙台支部交流会	本 所 市 本 所 市 仙 台 市
2月27日	東北生販生乳受託販売委員会 宮城県仙台家保管内畜産担当者会議 酪農ヘルパー要員研修会 ～ 28日 みやぎまるごとフェスティバル事務局会議	仙 台 市 仙 台 市 松 島 町 仙 台 市
2月28日	第11回理事会 (株)みやぎの運送取締役会	本 所 市 本 所 市

[編集後記]

桜の開花が待ち遠しい季節となりました。

「ソメイヨシノ」の名前が初めて文献に記録されたのは、1900年(明治33年)にさかのぼりますが、染井村(現在の東京都豊島区)の植木屋がエドヒガンサクラとオオシマサクラをかけ合わせて作り出したと言われていました。

花見はもちろん入学時の校庭に咲くなど、桜は日本人にとって思い入れの深い花ではないでしょうか。

発行

遠田郡美里町北浦字道祖神前16

みやぎの酪農農業協同組合

TEL.(0229)34-2311(代表)